

### 第3回南砺市立保育園審議会会議録

|     |                          |                  |
|-----|--------------------------|------------------|
| 期 日 | 平成19年5月30日(水) 午後4時～5時40分 |                  |
| 会 場 | 南砺市福野庁舎2階201会議室          |                  |
| 出席者 | 宮田 徹 会長                  | 小林 敏夫 委員         |
|     | 中田 勝治 委員                 | 浅田 裕二 委員         |
|     | 水木 猛 委員                  | 嶋 信一 委員          |
|     | 金田 悦子 委員                 | 川上 優香 委員         |
|     | 江川真理子 委員                 | 梧桐 朋恵 委員         |
|     | 柄崎 篤香 委員                 | 南 尚三 委員          |
|     | 横川 正希 委員                 | 寺井 孝夫 委員         |
|     | 定村 弘 委員                  |                  |
| 欠席者 | 岩田 繁子副会長                 | 窪 有美子 委員         |
|     | 古瀬美奈子 委員                 | 高輪 映子 委員         |
|     | 中藪 淳一 委員                 |                  |
| 市当局 | 清都 邦夫副市長                 | 山本 勝徳収入役         |
|     | 上田 民生部長                  | 森田 民生部次長(児童育成課長) |
| 事務局 | 岩見 児童育成課主幹・保育園係長         |                  |
|     | 小橋 同係副主幹                 | 斉藤 同係主査          |

#### 会議内容

(開会)

森田次長 第3回の保育園審議会を開会いたします。

宮田会長 本日は第3回の審議会となります。予定としては、5時30分終了と考えておりますので、ご協力下さい。

協議事項に入ります。

まず、5月14日に城端さくら保育園を視察しての感想やご意見をお願いします。(発言なし)

さくら保育園はクラスター方式をとっている大規模園で、環境的には恵まれた状況であると思われませんが、質問等もあればそれもまじえて協議を進めたいと思います。(発言なし)

では、後の協議の中でも、ご意見があればお願いします。

本日は事務局にいくつか資料を用意していただきました。

まず、南砺市のいろいろな計画の中で、保育関連について今後の在り方がどのように示されているのか、事務局から説明をいただきます。

そして、そうした計画に示されているビジョンに比して実態はどうであるのかを検討し、今後の保育園のあり方について協議を進めたいと思います。

では、事務局から資料説明をお願いします。

森田次長 先ず最初に開催当日に資料を配布したことをお詫びいたします。それでは、市ではどのような計画をしているかということで「保育」の部分の抜粋したのでご覧ください。又、別に参考として「保育園関係抜粋資料」として各計画の(写)を付けておりますのでご覧ください。

(以下「南砺市総合計画」「南砺市次世代育成支援行動計画」「南砺市地域福祉計画」及び3頁の「南砺市保育サービス一覧表」について説明)

宮田会長 「南砺市総合計画」「南砺市次世代育成支援行動計画」「南砺市地域福祉計画」の各計画について説明いただきました。最近の保育園にはいろんな機能が求められています。園児の健やかな育ち、家庭への子育て支援、又地域の拠点としての役割もあります。その中で、地域の子育て支援センターとして、親子が交流し、情報交換できるような場を提供する等の機能も求められているといえます。各園の保育サービスの一覧資料もあります。この資料も踏まえて保育園のあり方についてご意見等をお願いします。

委員 今回少し勉強しました。厚生労働省の保育所保育方針には「保育所は乳幼児が生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期にその生活時間の大半を過ごすところであり、保育所における保育の基本は、家庭や地域社会と連携を図り、保護者の協力の下に家庭養育の補完をし、子どもが健康、安全、情緒の安定した生活の環境を用意し、十分に自己発揮した活動ができるように健全な心身の発達を図る。」とあります。機能としては、幼稚園と違って親の労働保障をする社会的機能、これは今、力を入れているサービスの方です。城端さくら保育園では、延長保育、一時保育、病後児保育等について実施されており、そこは充実しているのかと思います。もう一つ大事なのは子どもの発達保障と生活保護の機能も必要ということです。これは昭和22年に決められたものだそうです。それから地域の子育てに対する子育て支援機能も必要です。城端地域は合併前6箇所保育所があり、保育士が子ども10人に1人がついていましたが、今は倍以上の子ども達、3歳児から5歳児を4人の保育士がみています。一応、最低基準はクリアしているものの、基準も古く、時代の求めるものも違っているように思います。にもかかわらず統合される前と保育士の数は減っているように思います。また、先生とのコミュニケーションも少なくなっている感じで、もっと子どもの立場に立った良い環境にしてほしいと思います。延長もしているのですが、担任がローテーションにより勤務に就いている関係で話す機会も少なくなっているように感じます。保育園の場所は福祉ゾーンになっているので境界に塀がありません。このような

環境で子どもは伸び伸びと過ごせるのかどうか。先生と親が一体になっていきたいが保育園での子どもの様子が余りわかりません。適正な規模とはどういうものなのでしょうか。

宮田会長       ご意見、ありがとうございます。検討を進めるために、次の資料についても説明をお願いします。

森田次長       「給与費と保育園運営費の財源内訳」について17年度決算分を説明します。  
(資料4頁説明)

「H18年度保育料の水準」について説明します。

(資料5頁説明)

宮田会長       保育には様々な経費が掛かり、保育料もいただいているが、国や県からの財源も含めて運営しているということです。保育料は、国の基準では保育に要する費用の半分位の設定を考えているようですが、南砺市は1/3程度の保育料としており、不足分は市の財政でやりくりしているということのようです。

さて、城端さくら保育園について、他の地域の方はどのように思われたでしょうか。

委員           現在子どもが通っている保育園は園児が51名で子ども達の顔が全員わかり、ちょうど良い人数だと思います。さくら保育園は施設も良くきれいですが、先生が子ども一人一人をみることができているのかなと思いました。行事も縮小されており、合併によりあまり良くない環境になったような気がします。当園は保育園行事の夕涼み会も無くなる方向でしたが、今年は実施できそうです。規模が大きくなりすぎない方が良いと思われれます。

委員           さくら保育園の施設はきれいでしたが、人数が多くて狭く感じました。先生方の顔写真の掲載は、先生が誰かよくわかっていいと思います。

委員           今日はチャレンジデーなので保育園で子どもと一緒に踊ってきました。子どもが通っている保育園は人数も少なく触れ合いがあるので大変良いです。さくら保育園は人数が少ないクラスはゆとりがあり良かったけれども、多いクラスは窮屈そうでした。最初からはたして地域毎に分けたことが良かったのかどうか。多くの子どもと交流できるのも良いと感じました。又、0歳児室への入室の際に消毒しておられたが、ゆきすぎではないかと感じました。

委員           夕涼み会についてですが、保育園主催でしょうか。さくら保育園は保護者中心で実施しています。

委員           職員の時間外勤務等の関係もあるようです。大きくなることによっていろんな細かいことに弊害が生じているように思います。

委員           行事の際の保護者負担が多いように思います。

委員           保護者と先生が話す機会も少なくなり、子どもが多くなって連絡を書く時間

も少なくなっているように感じます。

宮田会長        それぞれの園の保育内容等の現在の課題をこの審議会の中で直接扱うことは難しいと思いますが、保育園のあり方を考える上で必要な課題はどんどん発言してください。

委員            福野地域ではバス送迎の考え方が薄いように感じます。送迎バスは必要なのでしょうか。保護者が送り迎えをするのが原則ではないでしょうか。

宮田会長        保育園は、「保育に欠ける子どもを預かる」施設なので、幼稚園のような時間帯でのバス運行は難しいでしょう。地理的な問題を考えるとバス対応も必要な場合があるように思います。保護者と保育士のコミュニケーションについては、連絡帳等、それぞれの保育園の工夫が必要ではないでしょうか。

委員            先生とのコミュニケーションが少ないことを保護者は心配しておられると思います。

宮田会長        その日の出来事をその日の内にすべての保護者に直接伝えることはできないでしょうが、写真等を活用するなど、工夫することが求められると思います。

                    今後の進め方について、お諮りします。現在の保育園のもつ課題を検討しながら、こんな機能をもつ保育園が求められるというようなビジョンについて検討したいと考えます。その上で、そのために必要な規模や保育士配置等についても検討を進めることにしたいと思います。

委員            保育園を0から3歳迄の子の保育園と3歳以上児の保育園に分けるわけにはいかないでしょうか。

宮田会長        低年齢児と3歳以上児と一緒に過ごすことで、異年齢児交流の機会が子どもの育ちによい影響をもたらすということも考えられます。また、0から2歳児は保育士配置が多いので、以上児クラスで保育士が休んだ場合など、低年齢児の昼寝の時間帯であれば、サポートに入れるというようなこともあるようです。

委員            大門きらら保育園を視察し、その後、城端さくら保育園を視察しました。城端さくら保育園一つにまとめるにはいろんな紆余曲折があったと思われます。保育園は3から5歳児が中心になると思われますが、時代の要請により0歳からの保育が望まれています。統合してスタッフが充分配備されれば父兄も安心できます。

                    保育園は地域の基点になっているので無くなることには地元として抵抗があります。29箇所ある保育園を幾つにしていけるのか、園バス等の心配もありますが、規模として200人台の園児数が基本になるのかなと思われます。城端地域を先進事例とすればモデルになると思います。保育を充実させるには合理的に考えることも必要ではないでしょうか。

- 宮田会長 これまでの協議も踏まえて、どのような規模が望ましいのか等について、審議会の中でいつ頃までに決めるのか、ある程度見通しを持ちたいと思います。
- 委員 本当に保護者のニーズがどこまであるのか、民営化等や幼保一元化等も視野に入れていろんな角度から検討すべきと考えます。
- 宮田会長 今後、どこかの時点で、民営化や幼保一元化も含めて検討することも必要になるかもしれません。
- 時間もきておりますので、そろそろ閉会にしたいと思います。
- 清都副市長 本日はチャレンジデーですので、ご協力ください。
- 開催時間については保護者の委員に迷惑をかけました。
- 大きい保育園の代名詞が「城端さくら保育園」となっていますが、いろいろ問題もあるようです。延長保育は地区でまとめて実施しています。民営化も性急にすることもないように思います。幼・保一元化は公営の幼稚園も無く民営の幼稚園はそれぞれの歴史があります。次回は大卒について協議していただきたいと思います。遅くまで熱心に審議していただきありがとうございます。今後ともよろしく申し上げます。

(5時40分終了)